

「中間発表(コーポレートアクセス)」

「その企画で、いちばん大切にしているものは何ですか。」次々に、企業人から鋭い質問。しかし、どのグループもひとつひとつの質問にしっかりと答えていた。わからないところは、「まだ、そこまでは調べていませんでした。これから考えていきます。」と、模範回答のような受け答えもあった。

令和4年11月10日。2年生全体が同時にプレゼンして、企業人からコメントをもらうのは本校初の試み。

企業人も日本各地から参加。パナソニック エナジー(大阪市)、フォレストアドベンチャー(福岡県、佐賀県) ヤフー(上山市)、教育と探求社(横浜市)。大和ハウスと教育と探求社(学校コーディネーター)の方々は、天童三中に来校。また、報道関係者(山形新聞)も取材に訪れた。

中間発表のようすは、VTRに撮影。栃木県立佐野附属中学校の2年生の中間発表と交換し、お互いに感想を交換することになっている。12月の最終発表に向けて、たいへん有意義な時間になった。

生徒の今日のひとことより

・中間発表をして、他のグループの提案や企業の方々のアドバイスを聞いて良かった。私たちの班は、まだまだ面白い企画ではないし、具体的ではないので、もっと違う目線から追究していこうと思った。【0000】

・企業の方からコメントをいただき、まだ具体的に考えていないところや、もっとよくしていけるところなどが見つかりました。もう一度企画を見つめ直し、何が足りないのか、どうしたら良くなるのかを考え、改善していきたいです。【0000】

・企業の方からアドバイスを受けたり、厳しめの助言をもらったので、これからはもっと企画案を深めていきたいと思いました。【0000】

・準備不足のところもあったけど、チームの人と協力できてよかった。もらったアドバイスをいかして、もっと楽しめる企画をつくりたい。【0000】

・企業の方からももらったアドバイスを次回にいかせるようにしたい。また、現実的に考えるだけでなく、中2の私たちだからこそ、考えられる企画を提案していきたい。【0000】

・自分たちから見えていなかった視点をご指摘いただきました。それをもとに、企画を練り直していきたいです。なかなか、理想を実現する企画修正案を出せずに苦戦した。しかし、できるだけ多くの人の意見を取り入れることで、たくさんの意見が出せた。【0000】

・緊張して、台本をそのまま読んだだけの発表になりましたが、無事発表できた。企業の方のアドバイスに近づけるように頑張りたい。【0000】

・企業の方からのアドバイス、栃木の中学生からいただいたコメントをいかしてグループでいろいろ考えて話し合いを進められて楽しかった。【0000】

*過去の記事は、本校HPに掲載中



11月16日山形新聞朝刊